

ため池ハザードマップ

野間池【保存版】

ため池決壊の想定条件

地震や大雨によって、満水状態の野間池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

浸水の深さによって避難方法は異なります

- 浸水しない場所（空き地、道路など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

いざというときの連絡先（TEL）

さぬき市	代表	087-894-1111
警察	事件・事故の通報	110 局番なし
消防	火事・救助・救急	119 局番なし
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171 局番なし

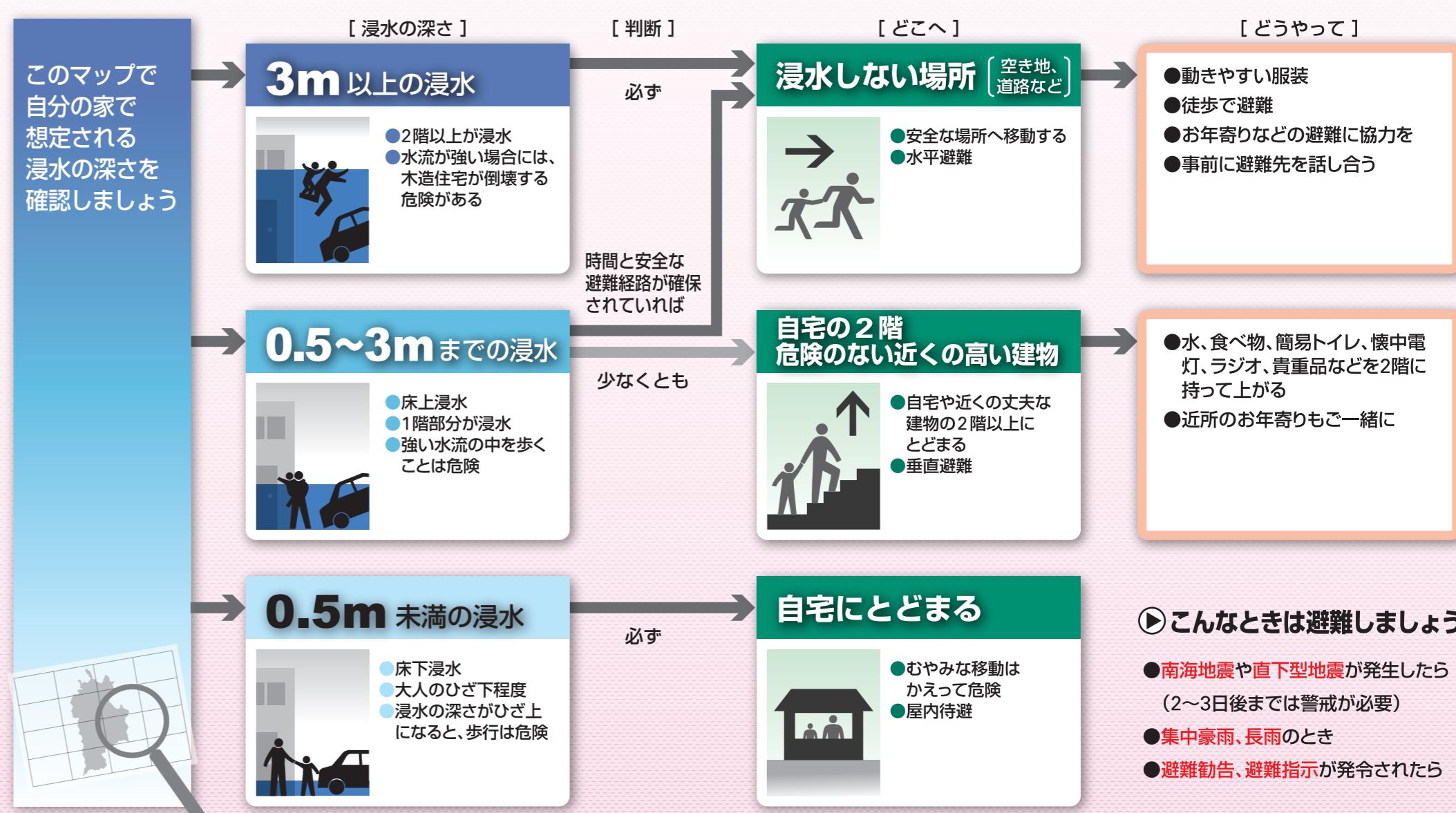
安全安心コミュニティ（登録無料）

http://anshin.sanuki.ne.jp/m/
登録しておくだけで、さぬき市における緊急災害情報などが携帯電話のメールに配信されるサービスです。



ひなん 状況に応じた避難をしよう

» ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ



命を守るために行動

ため池決壊について知ろう

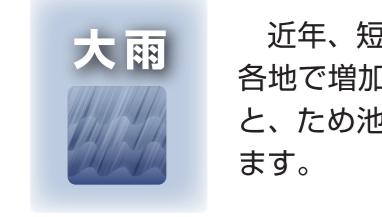
» ため池決壊の原因（地震と大雨）



さぬき市では、東南海・南海地震（今後 30 年以内に発生するおそれ）が同時発生した場合に、震度 5 強～6 強*の揺れが予測されています。

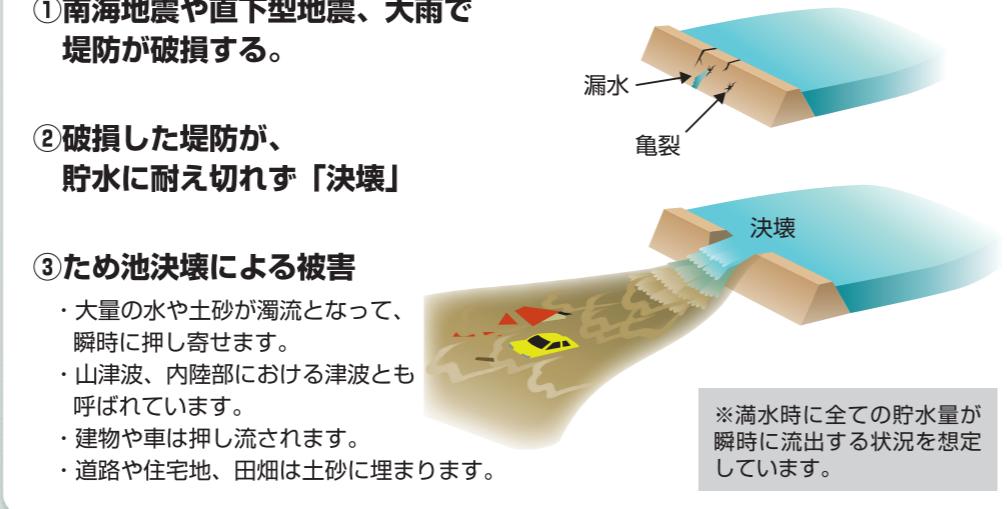
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。

* さぬき市地図ハザードマップ（平成 22 年 9 月作成）

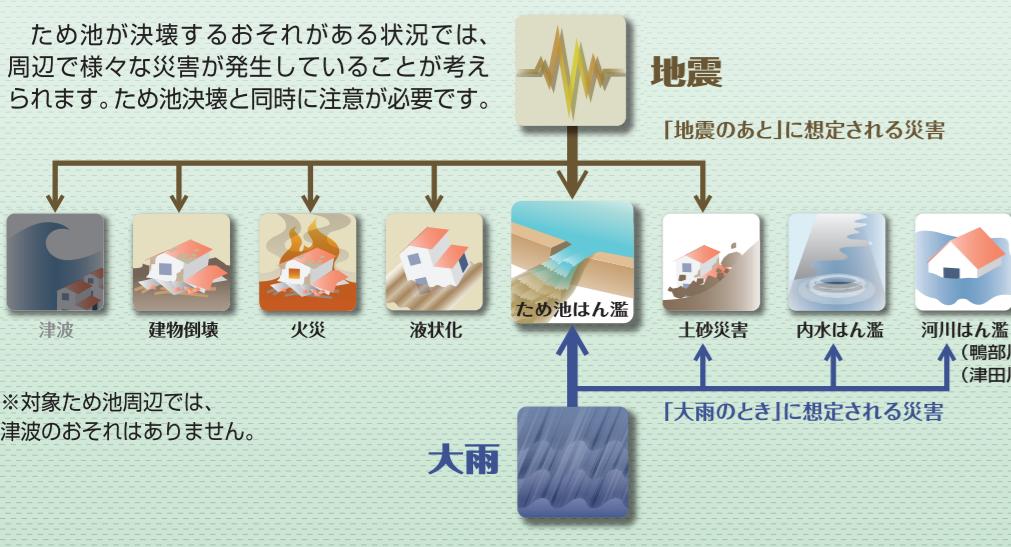


近年、短時間に激しく降る大雨（ゲリラ豪雨）が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続くと、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。

» ため池決壊の起り方と、その被害



» ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



» 災害事例

地震 - 一福島県 須賀川市-

東北地方太平洋沖地震（平成 23 年 3 月 11 日）による震度 6 弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者 8 名を出す被害となりました。

・長時間の強い揺れによって、地震後に決壊。
・田植え前で満水状態であった貯水が全て流出した。
・下流の集落に濁水流となって押し寄せた。
・身近なところでもため池決壊は起こっています。

大雨 - 一香川県 さぬき市-

平成 23 年 9 月の台風 15 号に伴う大雨によって、薬師堂下池（津田町）の堤防が幅 18m、高さ 5m にわたって崩れました。

・緊急的に水位を下げたことにより決壊を免れました。

ひなんじょうほう 避難情報に注意しよう

» 避難情報を入手するときの注意事項



被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

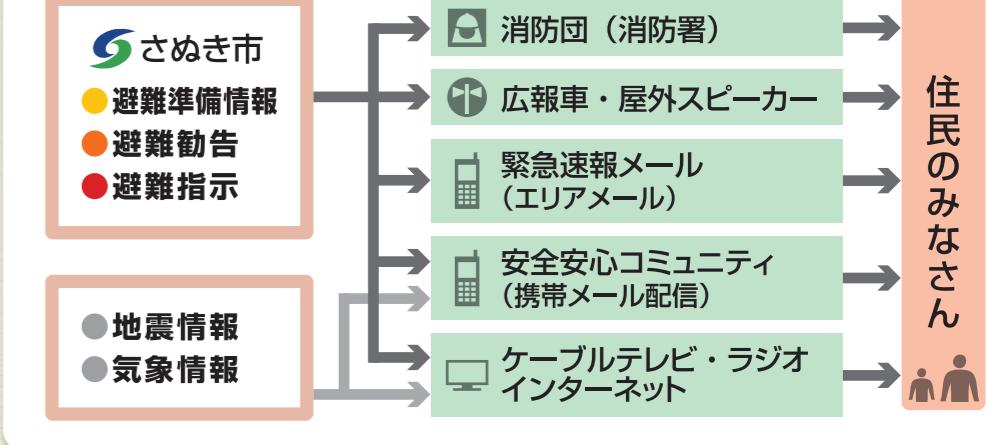


大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。

テレビやラジオ、インターネットなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

» 避難情報の伝達経路と内容

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに行き届きます。



» あらかじめ非常持ち出し品を準備しましょう



のまいけ 野間池 浸水深マップ

地震のあと

このマップは、野間池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

ここでは、ため池決壊による浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

浸水の深さ

3m 以上が浸水の深さ
2階以上が浸水の深さ
0.5~3m までの深さ
0.5m 未満の深さ

避難経路の安全性

- 特に危険な区域（ため池堤防）
- ひざ上（0.5m以上）が浸水通行は危険
- ひざ下（0.5m未満）が浸水通行には注意が必要

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

- 土砂災害（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害（土石流）
- 土砂災害警戒区域

※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

凡例

- 避難所（建物）
- 広域避難場所
- 避難所・広域避難場所（敷地）
- 避難方向
- アンダーパス
- 防災行政無線（屋外スピーカー）

防災メモ

あなたの家で想定される浸水の深さはどれくらいですか？

3m以上 0.5~3mまで 0.5m未満

ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。

命を守るために一時的に避難する場所^①

（例：近いのいき物、自宅2階）

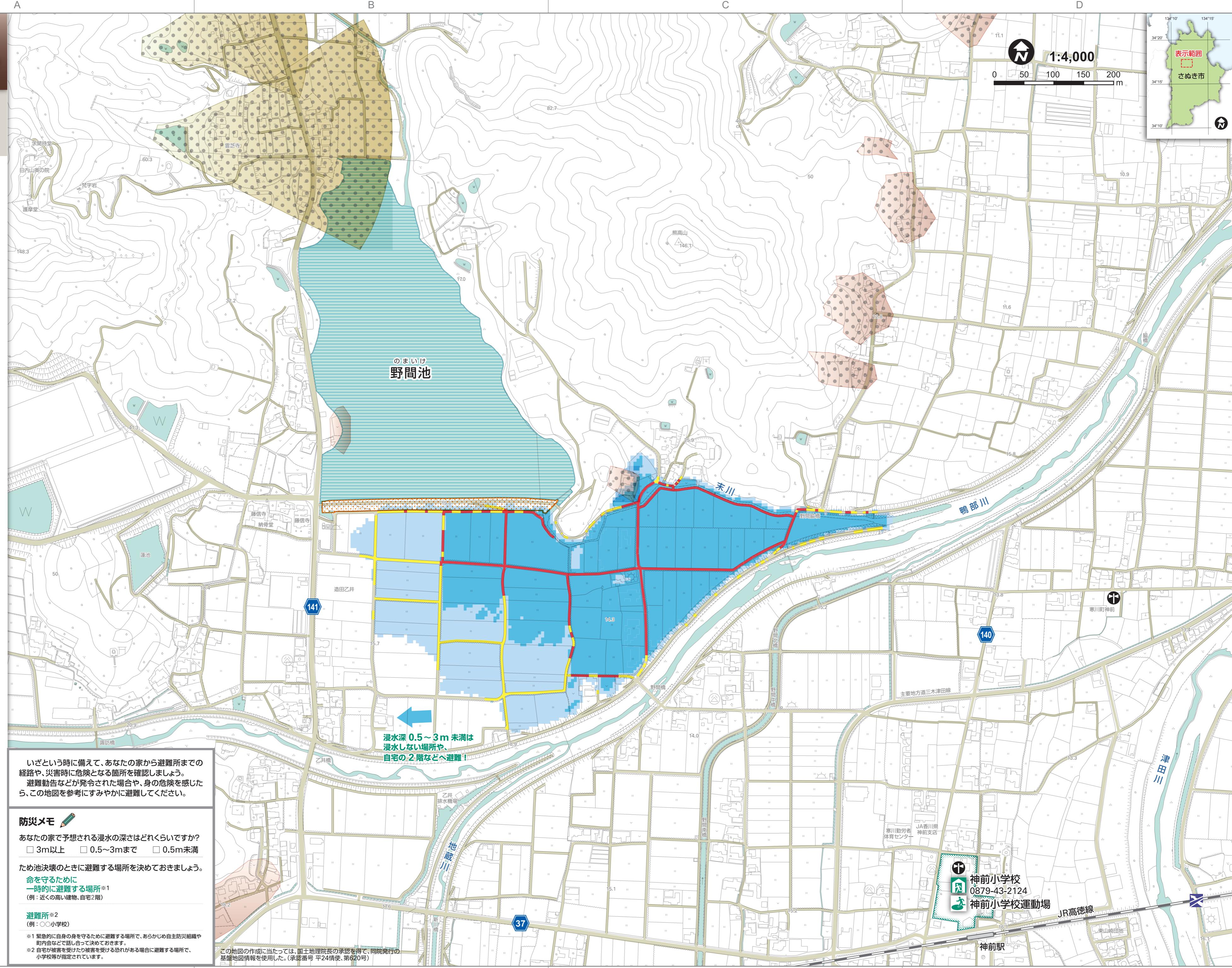
避難所^②

（例：小学校）

※1 避難所は、自分の命を守るために避難する場所で、あくまでも自家防災組織や市町村などに組合しておいてください。

※2 自由な場所を決めた避難所を決める際は、必ずお住まいの場合は避難する場所で、小学校等が指定されています。

この地図の作成に当たっては、国土総研の測量データ、防災行政無線の基礎地図情報を使用しました。（承認番号：平24候便、第620号）



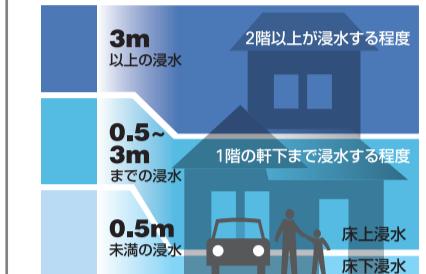
のまいけ 野間池 浸水深マップ

大雨 のとき

大雨のときは、気象情報などを参考に、早めの避難を行うことが大切です。

雨が降り続くと、たぬ池決壟のほかにも、水はけの悪い水路や小河川、下水道などがあふれる内水はん渉、土砂災害などの様々な災害が同時に発生するおそれがあります。

浸水の深さ



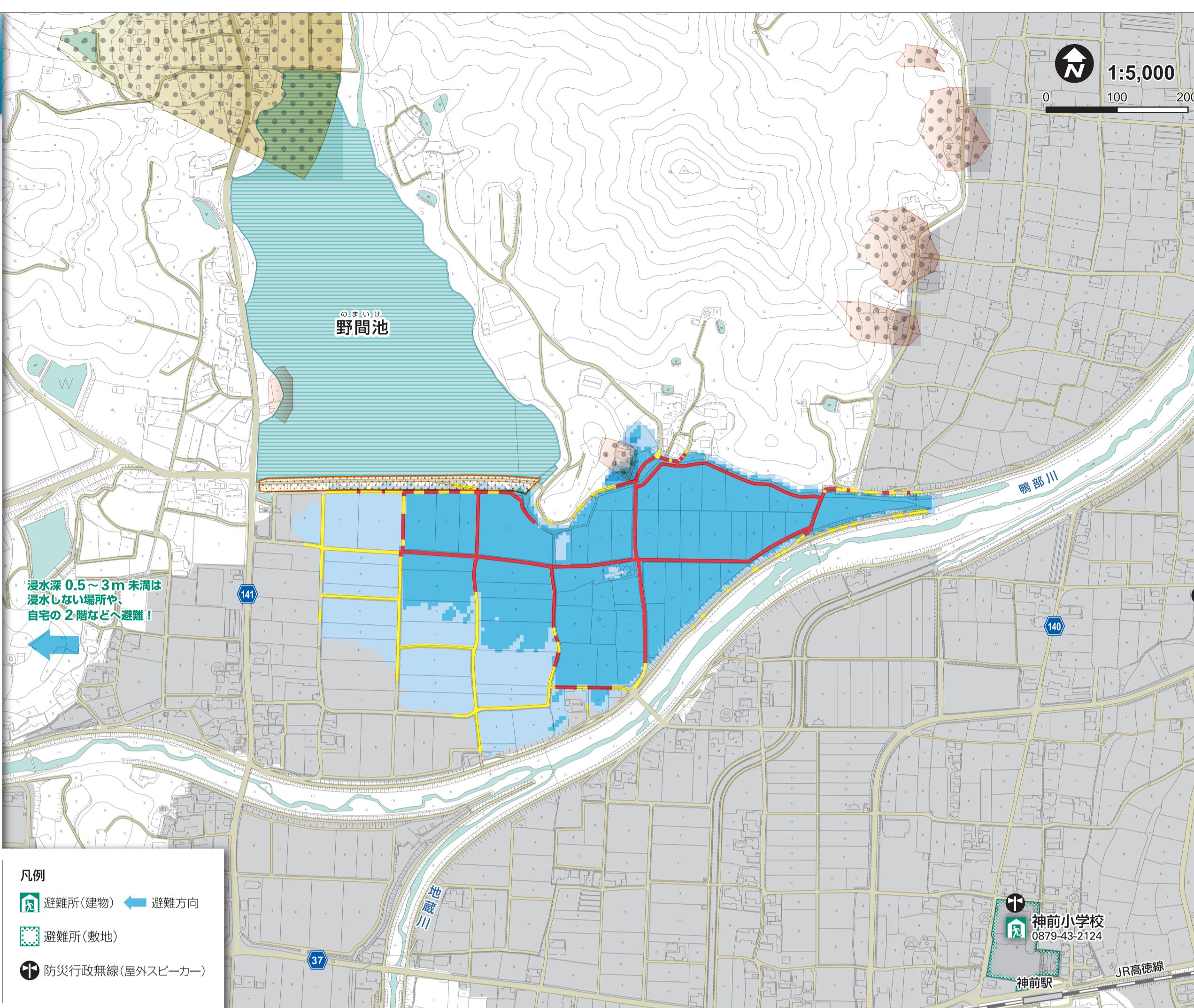
避難経路の安全性

- 特に危険な区域(たぬ池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水する危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水通行には注意が必要

たぬ池決壟とともに発生するおそれがある災害

- 鴨部川・津田川の決壟による浸水想定区域
- 土砂災害(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害(土石流)
- 土砂災害警戒区域

*内水はん渉による浸水想定区域は記載していません。



歩行困難区域 マップ

たぬ池決壟による「浸水の深さ」と「流れの速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。たぬ池が決壟すると、水のかたまりが勢いを持て押し寄せます。

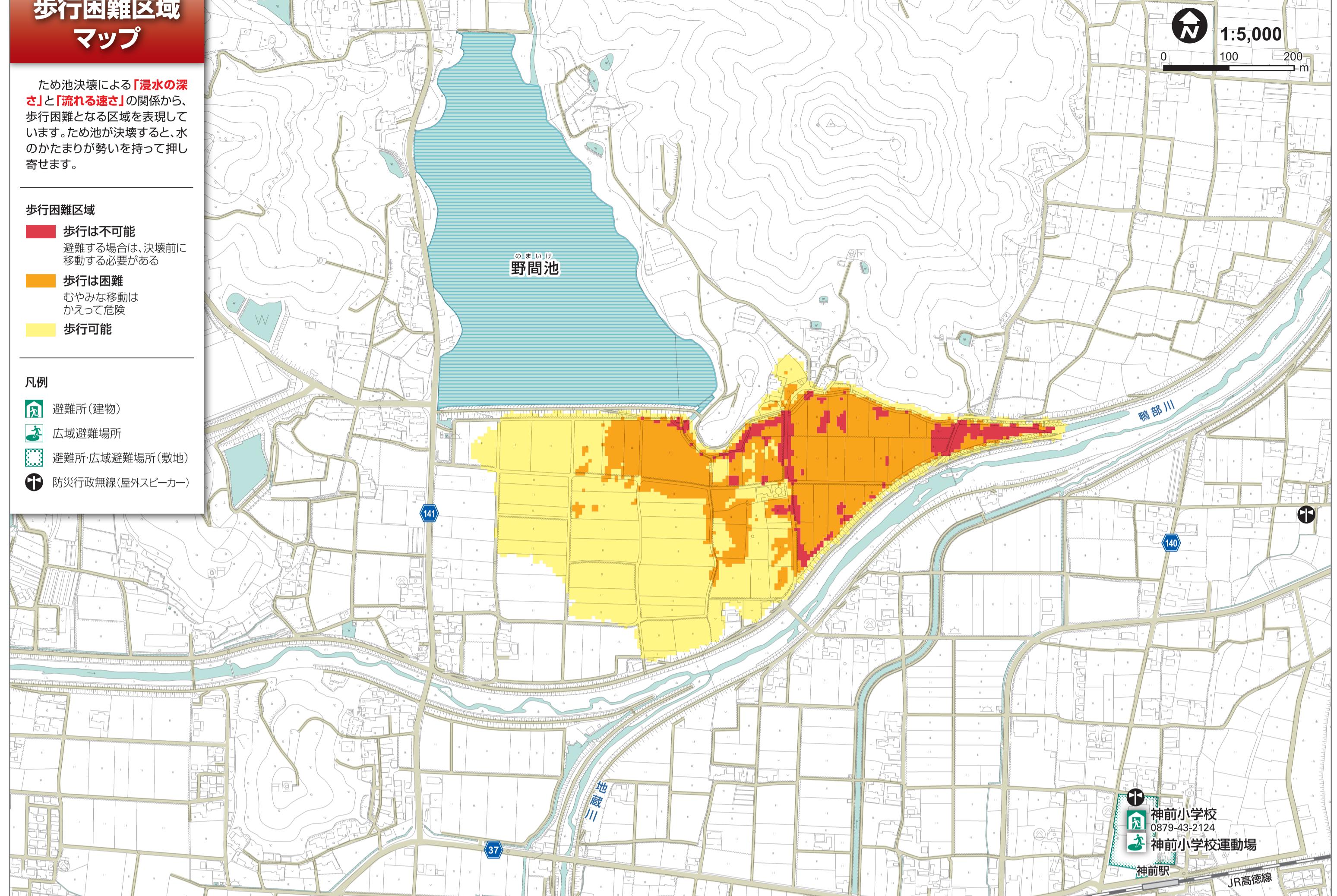
歩行困難区域

- 歩行は不可能
避難する場合は、決壟前に移動する必要がある
- 歩行は困難
むやみな移動はかえって危険
- 歩行可能

凡例

- 避難所(建物)
- 広域避難場所
- 避難所・広域避難場所(敷地)
- 防災行政無線(屋外スピーカー)

† 防災行政無線(屋外スピーカー)



ゆれやすさ マップ

震度分布

ゆれやすさマップは、東南海・南海地震が同時に発生した場合に想定される震度分布を表現しています。

地震の揺れは、震源からの距離と地形の違いによって変化し、一般に近くでは地盤がやわらかく、周囲と比べて1段大きな震度でゆれることもあります。さぬき市では、震度が強から6強が予想されています。

震度 (東南海・南海地震)



*東南海・南海地震は、今後30年以内に60%程度の確率で発生すると予測されています。

出典：さぬき市地震ハザードマップ
(平成22年9月作成)

凡例

- 避難所(建物)
- 広域避難場所
- 避難所・広域避難場所(敷地)
- 防災行政無線(屋外スピーカー)



到達時間 マップ

たぬ池が決壟した場合に、洪水がどのくらいの時間で到達するかを示したもので、たぬ池が決壟すると、大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。

到達時間

- 決壟後5分
- 決壟後10分
- 決壟後15分
- 決壟後30分
- 決壟後60分

凡例

- 避難所(建物)
- 広域避難場所
- 避難所・広域避難場所(敷地)
- 防災行政無線(屋外スピーカー)

† 防災行政無線(屋外スピーカー)

